

2-1-1 教員の学位や業績

【次世代教育学部】

教育経営学科	名前(読み)	大野呂 浩志 (おおのろ ひろし)
	職 名	教授
	取得学位	博士 (子ども学)
	専門分野 研究領域	障害学、特別支援教育、発達障害、実行機能、自立活動
	担当授業	基礎ゼミナールⅠ, フレッシュマンセミナー, ゼミナールⅠ (基礎), ゼミナールⅡ (応用), 小学校教育実習事前事後指導, 特別支援教育論, 教職実践演習
	研究業績	<ol style="list-style-type: none"> 大野呂浩志 (2021). 学習場面における知的障害児の実行機能と教師の指導の関連. 広島文化学園大学 子ども・子育て支援研究センター年報, 第10号, 11-23. 大野呂浩志 (2020). 教師のとらえる知的障害のある児童生徒の実行機能の分析: 自立活動の個別の指導計画における指導目標の記述から. 発達障害学研究, 42(1), 70-80. (日本発達障害学会 第7回 優秀論文賞 受賞) 大野呂浩志 (2020). 知的障害のある自閉症スペクトラム障害児の指導目標に関する分析: 自立活動の個別の指導計画における実行機能に関する記述を中心に. 広島文化学園大学学芸学部紀要 第10号, 1-12. 安田万里子, 大野呂浩志, 眞田敏, 加戸陽子, 大野繁, 濃野信 (2019). Factors influenced sustainability in inclusive education -Clinic-based survey-. 広島文化学園大学学芸学部紀要 第9号, 1-8. 大野呂浩志 (2018). 個別の指導計画の分析—知的障害のある子どもの問題解決能力の育成に向けて—. 広島文化学園大学 子ども・子育て支援研究センター年報, 第8号, 17-25. Hiroshi Onoro (2018). Teachers' recognition of problem-solving abilities in children with intellectual disabilities. HNUE Journal of Science, 63, 9AB, 199-208. スヌーズレンの臨床的応用に関する研究動向—自閉症スペクトラム障害を中心に—. 広島文化学園大学 子ども・子育て支援研究センター年報 第7号, 5-12. Hiroshi Onoro, Yoko Kado, Satoshi Sanada and Shigeru Oono (2017). Children with autism manifested by developmental regression focusing on difficulties in school life. HNUE Journal of Science 62, 10-15. 大野呂浩志, 仲矢明孝 (2017). 情緒の安定に課題のある自閉症児への自己理解に基づく自立活動: 自己制御機能に着目した指導記録の分析. 岡山大学教師教育開発センター紀要, 第7巻, 61-70.
	所属学会 学会活動	日本特殊教育学会 / 日本教育実践学会 / 日本 LD 学会 / 日本特別ニーズ教育学会 / 日本発達障害学会
社会貢献	<ol style="list-style-type: none"> 2022年6月: 岡山県立早島支援学校 「自立活動の指導の充実」研究 外部講師 2021年8月: 広島市私立進徳学園進徳女子高等学校 特別支援教育研修会 講師 2021年8月: 岡山県立健康の森支援学校 校内 自立活動研修会 講師 2021年6月: 岡山県立倉敷まきび支援学校 校内 自立活動研修会 講師 2021年6月: 岡山県立岡山西支援学校 校内 自立活動研修会 講師 	